

取扱説明書

つなぎかたガイド

接続・設定するときにお読みください

NEC

NWA-A11452-004-00
2024 年 3 月

Aterm WG2600HP4

PA-WG2600HP4

本書は、読んだあと大切に保管してください。

技術基準適合認証証

★本書では、無線 LAN アクセスポイントを親機、無線 LAN 端末を子機と呼びます。

重要

本商品をご利用になる前に、必ず、裏面の「自動バージョンアップ機能・保守サービス機能に関する許諾について」をお読みください。

バージョンアップ中は、POWER ランプが点灯しますので、絶対に本商品の電源を切らないでください。
※バージョンアップ中は、本商品に接続している端末との接続は切断され、数分間インターネット通信などができなくなります。

POWER
点灯灯

このたびはAterm WG2600HP4をご利用いただき、まことにありがとうございます。
Aterm WG2600HP4（以下、本商品と呼びます。）は、IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11bの無線LAN規格に準拠した、IPv6対応のWi-Fi（無線LAN）ホームルータです。
また、メッシュネットワークのメッシュ親機として使用でき、設定すればメッシュ中継機としても使用できます。
※メッシュ機能に対応したすべての装置との互換性を保証するものではありません。

箱の中身を確認する

不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- ☐ WG2600HP4

☐ スタンド
- ☐ 添付品>

☐ AC アダプタ

☐ つなぎかたガイド（本書）

☐ らくらく QR スタート用 QR コード（シール）
- ☐ LAN ケーブル（カテゴリ5e ストレート）

☐ 保証書（本書に含む）
- 装置ごとに異なりますので、大切に取り扱いください。

本商品の取扱説明書について

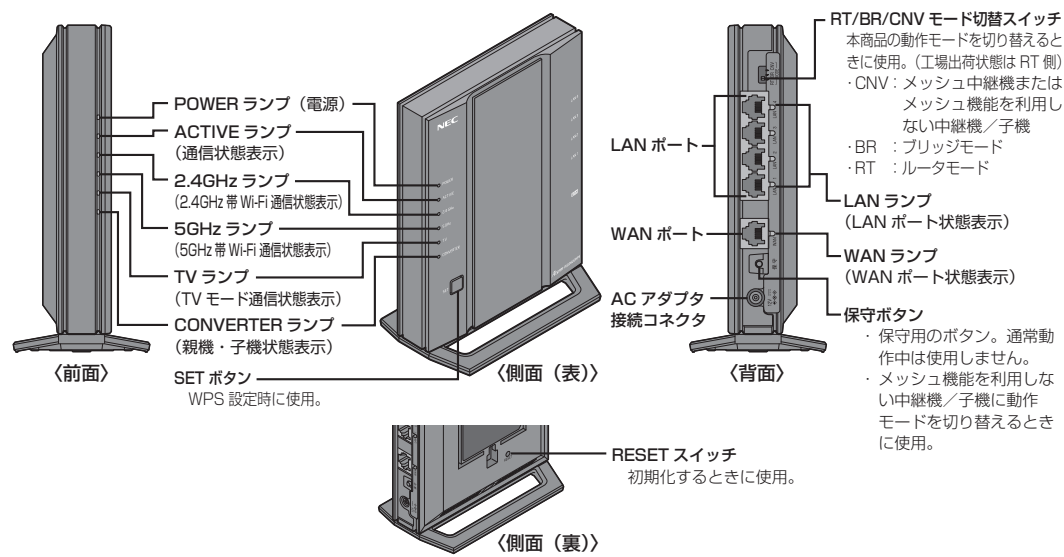
本商品の取扱説明書は下記のように構成されています。（2024 年 3 月現在）

- つなぎかたガイド（本書）

基本的な接続（ボタン）を例にして、インターネットが使えるようになるまでの接続・設定手順を説明しています。また、ご使用前に確認していただきたい注意事項、トラブルシューティングも記載しています。
- ユーザーズマニュアル（Web サイトに掲載）

本商品のさまざまな機能を利用してできること、わかりやすい操作・設定手順で説明しています。
また、本商品の基本事項についても記載しています。
→ 右記 QR コードまたは下記から参照してください。
サポートデスク（※裏面「お問い合わせ・保守サポート」）「マニュアル」－「ユーザーズマニュアル」

各部の名称



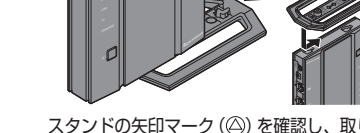
STEP 1 本商品を設置して電源を入れよう

※前後左右 5cm、上 5cm以内に他の機器や壁などが無い場所に設置してください。壁掛けの場合は、壁掛け面を除きます。

1 スタンドを取り付ける

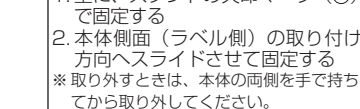
■縦置きの場合

本体前面にスライドさせて固定します。



■横置き / 壁掛けの場合

本体側面（ラベル側）にスライドさせて固定します。



■スタンドの取り外し方法

スタンドの矢印マーク（㊸）を確認し、取り付け方向にカチッと音がするまでスライドさせる

※スタンドの矢印マーク（㊸）は縦置きの場合は本体側、横置きの場合は本体上にくるよう設置してください。

＜壁掛けする場合の取り付け方＞

1. 壁に、スタンドの矢印マーク（㊸）を上方向にしてネジで固定する

2. 本体側面（ラベル側）の取り付け穴を引っ掛けて、下方向へスライドさせて固定する

※取り付けるときは、本体の両側面を手で持ち、上方向へスライドさせてから取り外してください。

2 パソコンの電源を切る

すでにインターネット接続している環境の場合は、ブロードバンドモデムなどに接続しているパソコンの電源を切り、パソコンから LAN ケーブルを外します。

3 ブロードバンドモデムなどの電源を切る

＜ブロードバンドモデムの例＞
CATV モデム、ONU、ひかり電話対応ルータなど

4 本商品の WAN ポートとブロードバンドモデムなどを LAN ケーブルで接続する

ブロードバンドモデムなどの電源を入れる

5 ブロードバンドモデムなどの電源を入れる

6 本商品の電源を入れ、約 90 秒待つ

AC アダプタを本商品と電源コンセントに接続すると、本商品の電源が入ります。いったん側面（表）のすべてのランプが緑点灯します。正常動作するまで約 90 秒お待ちください。

警告

● AC アダプタは、必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタは、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

● AC アダプタをコンセントに差し込んだ状態で、AC アダプタに強い衝撃や無理な力を与えたり、ねじったりしないで、まっすぐ抜き差ししてください。火災、感電、故障の原因となります。

7 本商品の POWER ランプが緑点灯、ACTIVE ランプが消灯または緑点灯、2.4GHz、5GHz、WAN ランプが緑点灯または緑点滅することを確認する

POWER 緑点灯
ACTIVE 消灯または緑点灯
2.4GHz、5GHz 緑点灯または緑点滅

※ WAN ランプが点灯している場合は、LAN ケーブルの接続確認やブロードバンドモデムなどの電源を確認してください。

続いて、工場出荷状態の本商品に、ご利用の子機から Wi-Fi 接続します。STEP2 へお進みください。

※ Wi-Fi 設定引越し機能で、既存の親機の Wi-Fi 設定内容を引き継いだ場合は、STEP3 へお進みください。

※ 本商品に有線接続する場合は、本商品と端末（パソコンなど）の電源を切った状態で本商品の LAN ポートに端末を接続したあと、両方の電源を入れて約 90 秒待ち、STEP3 へお進みください。

STEP 4 セキュリティを強化しよう

★本書では、無線 LAN アクセスポイントを親機、無線 LAN 端末を子機と呼びます。

本商品をより安全にお使いいただくために、暗号化キーと管理者パスワードは、初期値（工場出荷状態の値）から変更してください。

複雑で長い文字列にして、安全性を高めることをお勧めします。

※ 下記の場合は、手順④、⑤のみ実施してください。

● Wi-Fi 設定引越し機能で、既存の親機の Wi-Fi 設定内容を引き継いだ場合

● メッシュ中継機またはメッシュ機能を利用しない中継機 / 子機として使用する場合

1 クイック設定 Web を起動する（※裏面「クイック設定 Web の起動方法」）

2 暗号化キーを変更する

「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－「Wi-Fi 詳細設定（5GHz）」画面で、「対象ネットワークを選択」にてプライマリ SSID を選択し、「[暗号化]」を開いて「[暗号化キー]」欄に左記「[設置・接続をはじめる前に]」で控えておいた暗号化キー（任意の文字列）を入力して、「[設定]」をクリックしてください。暗号化キーを変更することで、子機からの Wi-Fi 接続が切断される場合があります。その際は右記「暗号化キーを変更した本商品に Wi-Fi 接続する」を参照して、Wi-Fi 接続をし直してください。

※ 暗号化キーは、変更した値を入力してください。

3 管理者パスワードを変更する

ホーム画面に戻る、またはクイック設定 Web を起動して、「[詳細な項目を表示]」－「[メンテナンス]」－「[管理者パスワードの変更]」画面で、「[現在のパスワード]」欄に手順④でログインした初期値の管理者パスワード（Web PW）を入力し、「[新しいパスワード]」「[新しいパスワード再入力]」欄に左記「[設置・接続をはじめる前に]」で控えておいた管理者パスワード（任意の文字列）を入力して、「[設定]」をクリックしてください。

メッシュネットワークを構築する場合

本商品のメッシュネットワークを構築する場合は、下記の手順でメッシュ中継機を設置してください。

※ メッシュ中継機には、WG2600HP4 など、本商品のメッシュ機能に対応した機種を使用してください。
下記手順のメッシュ中継機は、WG2600HP4 を例にしています。

1 メッシュ親機とメッシュ中継機の接続設定をする（※裏面「メッシュ中継機として使用する場合は」）

2 設置したい場所にメッシュ中継機を設置して、電源を入れる

※メッシュ親機の ACTIVE ランプが緑点灯、メッシュ中継機の ACTIVE ランプが点灯、CONVERTER ランプが緑点灯することを確認してください。

3 メッシュ親機に Wi-Fi 接続していた子機から、インターネットに接続できることを確認する

※子機を追加する場合は、メッシュ親機のネットワーク名（SSID）、暗号化キーを子機に設定して Wi-Fi 接続してください。

以上で、設定は完了です。さらに詳細な機能をご利用になりたい場合は、サポートデスクに掲載の「ユーザーズマニュアル」を参照してください。

STEP 2 工場出荷状態の本商品に Wi-Fi 接続しよう

★本書では、無線 LAN 端末を子機と呼びます。

工場出荷状態の本商品に、ご利用の子機から Wi-Fi 接続します。本商品のネットワーク名（SSID）および暗号化キーをご利用の子機に設定してください。

詳細な Wi-Fi 接続方法は、子機の取扱説明書などを参照してください。

※ チャンネルが W56 に対応していない子機をご利用の場合は、本商品の「オートチャネルセレクト機能」を「使用しない」に変更して、「[使用チャネル]」を「W52」または「W53」に設定してください。設定は、クイック設定 Web（※裏面「クイック設定 Web の起動方法」）の「Wi-Fi（無線 LAN）設定」－「Wi-Fi 詳細設定（5GHz）」画面で行ってください。

※ 工場出荷状態では、バンドステアリング機能は有効に設定されています。

2 台目以降の子機は、下記「[暗号化キーを変更した本商品に Wi-Fi 接続する]」を参照してください。

以下は Wi-Fi 接続方法の主な例です。

スマートフォン / タブレット端末の場合

5 以下は iOS 端末を主に例に説明しています。機種・バージョンにより異なる場合があります。

1 ホーム画面などから「[設定]」をタップする

2 「Wi-Fi」をタップする

3 「Wi-Fi」をオンにして、本商品のネットワーク名（SSID）と同じ名前をタップする

※ 本商品のネットワーク名（SSID）は、本商品本体のラベルに記載されています。

4 パスワードに、本商品の暗号化キーを入力し、「[Join]」（または「[接続]」）をタップする

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

※ 本商品の POWER ランプが約 10 秒間赤点灯または赤点滅した場合は、設定に失敗しています。その場合は、手順④からやり直し、手順⑤の画面で暗号化キーを入力してください。

STEP 3 インターネットに接続しよう

1 Web ブラウザ（Microsoft Edge、Google Chrome など）を起動する

2 当社ホームページ（下記 URL）にアクセスする（2024 年 3 月現在）

https://www.necplatforms.com.jp/

アクセスできれば、インターネットの接続は完了です。

インターネットに接続できない場合は

1 Web ブラウザのアドレス欄に下記を入力して、クイック設定 Web を起動する

http://atrm.me/

※ http://192.168.10.1/ と入力しても起動できます。

※ ログイン画面では「[ユーザー名]」に「admin」（半角小文字）、「[パスワード]」に本商品本体のラベルに記載された英数字 8 桁のパスワード（Web PW）を入力して、「[ログイン]」をクリックしてください。

2 「[装置情報]」に表示されているメッセージにしたがって、「[接続先の設定]」をクリックする

※ 「[接続先の設定]」のボタンが表示されている場合は、下記「[接続事業者 / プロバイダ情報の設定（PPPoE）]」を参照してください。

3 ネットワークの一覧の中から、本商品のネットワーク名（SSID）をクリックし、「[接続]」をクリックする

安全にお使いいただくために必ずお読みください

ここでは、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
※表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
なお、さらに詳細な内容を「[ユーザズマニュアル](#)」に記載しておりますので、そちらもあわせてお読みください。

本書中のマーク説明

警告

人か死亡する、または重傷（※¹）を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

人が軽傷（※²）を負う可能性が想定される内容、および物的損害（※³）のみの発生が想定される内容を示しています。

お願い

本商品の本来の性能を発揮できなかつたり、機能停止をまねく内容を示しています。

図記号の説明

■ 警告・注意を促す記号

一般注意

発火注意

感電注意

高温注意

破壊注意

■ 行為を禁止する記号

一般禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

水ぬれ禁止

風呂等の使用禁止

火災禁止

■ 行為を指示する記号

一般指示

電源プラグをコンセントから抜く

（※¹）重傷・失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、やけどなど後遺症が残るものおよび治療入院や長期の通院を要するものを示しています。

（※²）軽傷・治療入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などを示しています。

（※³）物的損害・燃焼、腐敗および腐食、ベットのどこにかかわる盛大損害を示しています。

警告

電源

● 100V AC の家庭用電源以外では使用しないでください。また、差し込み口が 2 つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品 AC アダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないよう注意してください。

● 電源コードを傷つけない、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。

● AC アダプタは、たこ足配線にしないでください。

● AC アダプタは、必ず本商品に添付のものをとお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタは、他の製品に使用しないでください。

● AC アダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。

● 本商品に添付の AC アダプタは日本国内 100V AC (50/60Hz) の電源専用です。他の電源では使用しないでください。

● AC アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。また、AC アダプタは、電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態で使用ください。

● AC アダプタをコンセントに差し込んだ状態で、AC アダプタに強い衝撃や無理な力を与えたり、ねじったりしないで、まっすぐ抜き差ししてください。特に、回転式の抜き差し型コンセントへ抜き差しする場合には、無理な力をかけないように注意してください。

こんなときは（本体および AC アダプタ）

以下の場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、Atermインフォメーションセンターにご連絡ください。お客様による修理は危険ですから絶対にやめください。また、c、d、e のような使いかたはしないでください。

a. 煙が出ていたり、変なにおいがするなどの異常状態のとき

b. 電源コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線など）のとき

c. 本商品を水や海水につけたり、ぬらしたとき

d. 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしたとき

e. 本商品を落としたり破損したとき

禁止事項（本体および添付品）

● 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。

● 本商品を分解・改造しないでください。

● ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。

● 本商品の内部や周囲でエアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。

その他の注意事項（本体および添付品）

● 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。

● 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。

● 本商品のそばに花ばん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。

● 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。

注意

● 設置場所（本体および添付品）

本商品を設置する際は、必ず添付のスタンドを使用し、本商品の周囲に十分なスペースを確保してください。
また、設置の際は、以下のことにご注意ください。
● 本商品は温度 0 ～ 40℃、湿度 10 ～ 90％の結露しない環境でご使用ください。

● 本商品を重ね置きしないでください。

● 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。

● 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。

● 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。

● ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。

● 通風孔をふさがないようにください。次のような使いかたはしないでください。
<悪い例>
・収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
・じゅうたんや布団の上に置く
・テーブルクロスなどを掛ける

● 大きな衝撃や振動などが加わる場所や垂直面以外の壁や天井などには設置しないでください。

● ペニヤ板などのやわらかい壁には設置しないでください。

無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本商品間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波である範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
● 通信内容が盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
ID やパスワードはクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
● 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
特定の人物にのみアクセスを制限し、不正な情報を流す（なりまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピュータウイルスや不正なデータウェアシステムを破壊する（破壊）
等の行為をされてしまう可能性があります。
本家、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。
セキュリティの設定を行わないで使用する場合は問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することを推奨します。
セキュリティ対策を怠ります。あるいは、無線 LAN の仕様上やをええない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社がこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。
なお、無線 LAN をより安全にお使いいただくために、本商品の暗号化キー、PIN コードは初期値から変更してください。変更は、クイック設定 Web で行います。暗号化キーは「Wi-Fi 詳細設定」、PIN コードは「WPS 設定」の画面で変更してください。

自動バージョンアップ機能・保守サービス機能に関する許諾について

● 自動バージョンアップ機能は、本商品のソフトウェアに更新があった場合に、インターネットを介して自動でバージョンアップする機能です。本機能に関して許諾いただけない場合は、機能を無効にすることができます。
なお、本機能は、クイック設定 Web から下記のように設定することができます。（※ 右記「クイック設定 Web の起動方法」）
【更新があったら、すべてバージョンアップする機能】（工場出荷時の設定）
「メンテナンスバージョンアップ機能」：ON
「時刻指定バージョンアップ機能」：OFF
【重要な更新のみバージョンアップする場合】
「メンテナンスバージョンアップ機能」：ON
「時刻指定バージョンアップ機能」：OFF
※「メンテナンスバージョンアップ機能」はクイック設定 Web の「詳細な項目を表示」→「詳細設定」→「その他の設定」画面（ブリッジモードまたはメッシュ中継機またはメッシュ機能を利用しない中継機／子機として使用する場合は「基本設定」→「基本設定」画面）、「時刻指定バージョンアップ機能」はクイック設定 Web の「メンテナンス」→「ファームウェア更新」画面にて設定できます。
※「時刻指定バージョンアップ機能」では、自動的にソフトウェアを更新し、機能追加／変更を行います。意図しない機能追加／変更の更新を行いたくない場合は、「時刻指定バージョンアップ機能」を「OFF」（重要な更新のみバージョンアップする）に変更することもできます。
※自動バージョンアップ機能が実施されると、再度の設定や操作が必要となる場合があります。
●【重要な更新】とは、OS やソフトウェアのバージョンアップ（以下「当社」とします。）が本商品の機能を提供するうえでソフトウェアのバージョンアップが必須と判断した場合（例えばセキュリティ上の不具合を改善するソフトウェアの更新など）を示します。重要な更新がある場合は、事前に当社ホームページの「製品に関する重要なお知らせ」にてご案内します。
自動バージョンアップ機能が実施されると、本商品が再起動するため、それまで接続していた通信が切断されます。また、従量制課金適用の場合、ソフトウェアダウンロードによる通信費用や、パケット通信量超過による速度制限が発生する場合があります。発生した通信費用はお客様ご負担となります。
本機能では、本商品に関する機器情報、ネットワーク情報を当社が運用するサーバへ通知します。これらの情報は、本機能の実現と本商品の本機能の改善に利用し、それ以外の目的では利用しません。また、これらの接続情報、当社の取り扱う手続きに則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合につきましても、当社の取り扱い手続と同等に適切な管理を実施します。
●本機能は、工場出荷時に有効（「ON」）になっています。本機能に関して許諾いただけない場合は、クイック設定 Web で機能を無効（「OFF」）にしてください。（「メンテナンスバージョンアップ機能」を「OFF」にすると、「時刻指定バージョンアップ機能」も自動的に「OFF」となります。）ただし、本機能を無効にした場合、重要なソフトウェアの更新（例えばセキュリティ上の不具合を改善する更新など）であっても、自動的にバージョンアップは行いません。必ず、お客様が「手動」でバージョンアップを行ってください。
<ソフトウェアのバージョンアップ手順>
1. クイック設定 Web を起動する。（※ 右記「クイック設定 Web の起動方法」）
2. ホーム画面の「メンテナンス」→「ファームウェア更新」をクリックする
3. 「ファームウェア更新」の「更新」をクリックする
4. 「ファームウェア更新を行った」と「更新」の画面が表示されたら、内容をよく読んで「OK」をクリックする
5. 「ファームウェア更新中です。XXX 秒お待ちください。残り XXX 秒…」と表示されるので、そのまましばらく待つ
●保守サービス機能は、本商品に介してインターネットを介して保守サービス機能です
保守サービスの際には、本商品に関する機器情報、ネットワーク情報が当社の運用するサーバへ通知されます。また、クイック設定 Web で表示される情報が当社に送られます。これらの情報は、保守サービスのために利用し、これ以外の目的では利用しません。また、これらの情報は、当社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合につきましても、当社の取り扱い手続と同等に適切な管理を実施します。本機能に関して許諾いただけないと、本機能が利用可能となります。
※保守サービスの内容などは予告なく変更させていただく場合があります。

電波に関する注意事項

●本商品は、技術基準適合証明を受けています。
●IEEE802.11ac、IEEE802.11n（5GHz 帯）、IEEE802.11a 通信利用時は、5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.8GHz 帯域の電波は電波法で規制されています。
●5GHz 帯で使用するチャネルは 36,40,44,48ch（W52）と 52,56,60,64ch（W53）と 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch（W56）です。従来の IEEE802.11a で使用する 34,38,42,46ch（U52）の装置と IEEE802.11a モードでの通信はできません。
 ・ W52（5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch）
 ・ W53（5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch）
 ・ W56（5.8GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）が利用できます。
5GHz 帯で接続する子機は、以下のチャネルが利用可能なものを推奨します。
 ・ W52（5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch）
 ・ W53（5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch）
 ・ W56（5.8GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）
●W53（52,56,60,64ch）または W56（100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）を選択した場合は、法的により次のような制限事項があります。
 ・各チャネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
 ・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
●IEEE802.11n（2.4GHz 帯）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同周無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体無線局構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
 (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 (2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の放射を停止）してください。
 (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、Atermインフォメーションセンターにお問い合わせください。
●Bluetooth 機器との通信はできません。
●IEEE802.11n（2.4GHz 帯）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体無線局設置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、干渉距離は 40m です。

2.4 DS/OF 4

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す DS/OF : DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
規定される干渉距離は 40m 以下であることを示す
■■■■ : 全帯域を使用し、かつ移動体無線局設置の帯域を回避可能であることを意味する

IEEE802.11b/g/n

●本商品は 2.4GHz 帯で使用し、チャネル設定を手動で行う場合は、一般社団法人 電波産業会の ARIB 規格により下記内容が推奨されています。
【この機器を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャネル設定として CH1,CH6,CH11 のいずれかであることを推奨します。】
ただし、無線 LAN 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の 1,6,11ch 以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。（使用チャネルの設定方法は「[ユーザズマニュアル](#)」を参照してください。）
●デュアルチャネルを利用する場合は、同一周波数帯を使用する他の無線局に対して干渉を与える可能性があります。
 ・デュアルチャネルを「使用する」に設定する場合には、周囲の電波状況を監視して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前にお確かめください。
 ・万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、すぐに「使用しない」に設定を変更してください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI — B

高調波電流抑制対策について

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品
※消費電力 75W 以下のため適合

本商品本体のラベルに記載の図記号説明

— — — : 直流

● 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。

注意

● 設置場所（本体および添付品）

本商品を設置する際は、必ず添付のスタンドを使用し、本商品の周囲に十分なスペースを確保してください。
また、設置の際は、以下のことにご注意ください。
● 本商品は温度 0 ～ 40℃、湿度 10 ～ 90％の結露しない環境でご使用ください。

● 本商品を重ね置きしないでください。

● 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。

● 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。

● 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。

● ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。

● 通風孔をふさがないようにください。次のような使いかたはしないでください。
<悪い例>
・収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
・じゅうたんや布団の上に置く
・テーブルクロスなどを掛ける

● 大きな衝撃や振動などが加わる場所や垂直面以外の壁や天井などには設置しないでください。

● ペニヤ板などのやわらかい壁には設置しないでください。

無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本商品間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波である範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
● 通信内容が盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
ID やパスワードはクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
● 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
特定の人物にのみアクセスを制限し、不正な情報を流す（なりまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピュータウイルスや不正なデータウェアシステムを破壊する（破壊）
等の行為をされてしまう可能性があります。
本家、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。
セキュリティの設定を行わないで使用する場合は問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することを推奨します。
セキュリティ対策を怠ります。あるいは、無線 LAN の仕様上やをええない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社がこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。
なお、無線 LAN をより安全にお使いいただくために、本商品の暗号化キー、PIN コードは初期値から変更してください。変更は、クイック設定 Web で行います。暗号化キーは「Wi-Fi 詳細設定」、PIN コードは「WPS 設定」の画面で変更してください。

自動バージョンアップ機能・保守サービス機能に関する許諾について

● 自動バージョンアップ機能は、本商品のソフトウェアに更新があった場合に、インターネットを介して自動でバージョンアップする機能です。本機能に関して許諾いただけない場合は、機能を無効にすることができます。
なお、本機能は、クイック設定 Web から下記のように設定することができます。（※ 右記「クイック設定 Web の起動方法」）
【更新があったら、すべてバージョンアップする機能】（工場出荷時の設定）
「メンテナンスバージョンアップ機能」：ON
「時刻指定バージョンアップ機能」：OFF
【重要な更新のみバージョンアップする場合】
「メンテナンスバージョンアップ機能」：ON
「時刻指定バージョンアップ機能」：OFF
※「メンテナンスバージョンアップ機能」はクイック設定 Web の「詳細な項目を表示」→「詳細設定」→「その他の設定」画面（ブリッジモードまたはメッシュ中継機またはメッシュ機能を利用しない中継機／子機として使用する場合は「基本設定」→「基本設定」画面）、「時刻指定バージョンアップ機能」はクイック設定 Web の「メンテナンス」→「ファームウェア更新」画面にて設定できます。
※「時刻指定バージョンアップ機能」では、自動的にソフトウェアを更新し、機能追加／変更を行います。意図しない機能追加／変更の更新を行いたくない場合は、「時刻指定バージョンアップ機能」を「OFF」（重要な更新のみバージョンアップする）に変更することもできます。
※自動バージョンアップ機能が実施されると、再度の設定や操作が必要となる場合があります。
●【重要な更新】とは、OS やソフトウェアのバージョンアップ（以下「当社」とします。）が本商品の機能を提供するうえでソフトウェアのバージョンアップが必須と判断した場合（例えばセキュリティ上の不具合を改善するソフトウェアの更新など）を示します。重要な更新がある場合は、事前に当社ホームページの「製品に関する重要なお知らせ」にてご案内します。
自動バージョンアップ機能が実施されると、本商品が再起動するため、それまで接続していた通信が切断されます。また、従量制課金適用の場合、ソフトウェアダウンロードによる通信費用や、パケット通信量超過による速度制限が発生する場合があります。発生した通信費用はお客様ご負担となります。
本機能では、本商品に関する機器情報、ネットワーク情報を当社が運用するサーバへ通知します。これらの情報は、本機能の実現と本商品の本機能の改善に利用し、それ以外の目的では利用しません。また、これらの接続情報、当社の取り扱う手続きに則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合につきましても、当社の取り扱い手続と同等に適切な管理を実施します。
●本機能は、工場出荷時に有効（「ON」）になっています。本機能に関して許諾いただけない場合は、クイック設定 Web で機能を無効（「OFF」）にしてください。（「メンテナンスバージョンアップ機能」を「OFF」にすると、「時刻指定バージョンアップ機能」も自動的に「OFF」となります。）ただし、本機能を無効にした場合、重要なソフトウェアの更新（例えばセキュリティ上の不具合を改善する更新など）であっても、自動的にバージョンアップは行いません。必ず、お客様が「手動」でバージョンアップを行ってください。
<ソフトウェアのバージョンアップ手順>
1. クイック設定 Web を起動する。（※ 右記「クイック設定 Web の起動方法」）
2. ホーム画面の「メンテナンス」→「ファームウェア更新」をクリックする
3. 「ファームウェア更新」の「更新」をクリックする
4. 「ファームウェア更新を行った」と「更新」の画面が表示されたら、内容をよく読んで「OK」をクリックする
5. 「ファームウェア更新中です。XXX 秒お待ちください。残り XXX 秒…」と表示されるので、そのまましばらく待つ
●保守サービス機能は、本商品に介してインターネットを介して保守サービス機能です
保守サービスの際には、本商品に関する機器情報、ネットワーク情報が当社の運用するサーバへ通知されます。また、クイック設定 Web で表示される情報が当社に送られます。これらの情報は、保守サービスのために利用し、これ以外の目的では利用しません。また、これらの情報は、当社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合につきましても、当社の取り扱い手続と同等に適切な管理を実施します。本機能に関して許諾いただけないと、本機能が利用可能となります。
※保守サービスの内容などは予告なく変更させていただく場合があります。

電波に関する注意事項

●本商品は、技術基準適合証明を受けています。
●IEEE802.11ac、IEEE802.11n（5GHz 帯）、IEEE802.11a 通信利用時は、5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.8GHz 帯域の電波は電波法で規制されています。
●5GHz 帯で使用するチャネルは 36,40,44,48ch（W52）と 52,56,60,64ch（W53）と 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch（W56）です。従来の IEEE802.11a で使用する 34,38,42,46ch（U52）の装置と IEEE802.11a モードでの通信はできません。
 ・ W52（5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch）
 ・ W53（5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch）
 ・ W56（5.8GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）が利用できます。
5GHz 帯で接続する子機は、以下のチャネルが利用可能なものを推奨します。
 ・ W52（5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch）
 ・ W53（5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch）
 ・ W56（5.8GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）
●W53（52,56,60,64ch）または W56（100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）を選択した場合は、法的により次のような制限事項があります。
 ・各チャネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
 ・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
●IEEE802.11n（2.4GHz 帯）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同周無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体無線局構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
 (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 (2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の放射を停止）してください。
 (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、Atermインフォメーションセンターにお問い合わせください。
●Bluetooth 機器との通信はできません。
●IEEE802.11n（2.4GHz 帯）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体無線局設置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、干渉距離は 40m です。

2.4 DS/OF 4

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す DS/OF : DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
規定される干渉距離は 40m 以下であることを示す
■■■■ : 全帯域を使用し、かつ移動体無線局設置の帯域を回避可能であることを意味する

IEEE802.11b/g/n

●本商品は 2.4GHz 帯で使用し、チャネル設定を手動で行う場合は、一般社団法人 電波産業会の ARIB 規格により下記内容が推奨されています。
【この機器を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャネル設定として CH1,CH6,CH11 のいずれかであることを推奨します。】
ただし、無線 LAN 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の 1,6,11ch 以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。（使用チャネルの設定方法は「[ユーザズマニュアル](#)」を参照してください。）
●デュアルチャネルを利用する場合は、同一周波数帯を使用する他の無線局に対して干渉を与える可能性があります。
 ・デュアルチャネルを「使用する」に設定する場合には、周囲の電波状況を監視して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前にお確かめください。
 ・万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、すぐに「使用しない」に設定を変更してください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI — B

高調波電流抑制対策について

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品
※消費電力 75W 以下のため適合

本商品本体のラベルに記載の図記号説明

— — — : 直流

● 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。

注意

● 設置場所（本体および添付品）

本商品を設置する際は、必ず添付のスタンドを使用し、本商品の周囲に十分なスペースを確保してください。
また、設置の際は、以下のことにご注意ください。
● 本商品は温度 0 ～ 40℃、湿度 10 ～ 90％の結露しない環境でご使用ください。

● 本商品を重ね置きしないでください。

● 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。

● 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。

● 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。

● ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。

● 通風孔をふさがないようにください。次のような使いかたはしないでください。
<悪い例>
・収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
・じゅうたんや布団の上に置く
・テーブルクロスなどを掛ける

● 大きな衝撃や振動などが加わる場所や垂直面以外の壁や天井などには設置しないでください。

● ペニヤ板などのやわらかい壁には設置しないでください。

無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と本商品間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波である範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。
● 通信内容が盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
ID やパスワードはクレジットカード番号等の個人情報
メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
● 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
特定の人物にのみアクセスを制限し、不正な情報を流す（なりまし）
傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
コンピュータウイルスや不正なデータウェアシステムを破壊する（破壊）
等の行為をされてしまう可能性があります。
本家、無線 LAN 製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。
セキュリティの設定を行わないで使用する場合は問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することを推奨します。
セキュリティ対策を怠ります。あるいは、無線 LAN の仕様上やをええない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社がこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。
なお、無線 LAN をより安全にお使いいただくために、本商品の暗号化キー、PIN コードは初期値から変更してください。変更は、クイック設定 Web で行います。暗号化キーは「Wi-Fi 詳細設定」、PIN コードは「WPS 設定」の画面で変更してください。

自動バージョンアップ機能・保守サービス機能に関する許諾について

● 自動バージョンアップ機能は、本商品のソフトウェアに更新があった場合に、インターネットを介して自動でバージョンアップする機能です。本機能に関して許諾いただけない場合は、機能を無効にすることができます。
なお、本機能は、クイック設定 Web から下記のように設定することができます。（※ 右記「クイック設定 Web の起動方法」）
【更新があったら、すべてバージョンアップする機能】（工場出荷時の設定）
「メンテナンスバージョンアップ機能」：ON
「時刻指定バージョンアップ機能」：OFF
【重要な更新のみバージョンアップする場合】
「メンテナンスバージョンアップ機能」：ON
「時刻指定バージョンアップ機能」：OFF
※「メンテナンスバージョンアップ機能」はクイック設定 Web の「詳細な項目を表示」→「詳細設定」→「その他の設定」画面（ブリッジモードまたはメッシュ中継機またはメッシュ機能を利用しない中継機／子機として使用する場合は「基本設定」→「基本設定」画面）、「時刻指定バージョンアップ機能」はクイック設定 Web の「メンテナンス」→「ファームウェア更新」画面にて設定できます。
※「時刻指定バージョンアップ機能」では、自動的にソフトウェアを更新し、機能追加／変更を行います。意図しない機能追加／変更の更新を行いたくない場合は、「時刻指定バージョンアップ機能」を「OFF」（重要な更新のみバージョンアップする）に変更することもできます。
※自動バージョンアップ機能が実施されると、再度の設定や操作が必要となる場合があります。
●【重要な更新】とは、OS やソフトウェアのバージョンアップ（以下「当社」とします。）が本商品の機能を提供するうえでソフトウェアのバージョンアップが必須と判断した場合（例えばセキュリティ上の不具合を改善するソフトウェアの更新など）を示します。重要な更新がある場合は、事前に当社ホームページの「製品に関する重要なお知らせ」にてご案内します。
自動バージョンアップ機能が実施されると、本商品が再起動するため、それまで接続していた通信が切断されます。また、従量制課金適用の場合、ソフトウェアダウンロードによる通信費用や、パケット通信量超過による速度制限が発生する場合があります。発生した通信費用はお客様ご負担となります。
本機能では、本商品に関する機器情報、ネットワーク情報を当社が運用するサーバへ通知します。これらの情報は、本機能の実現と本商品の本機能の改善に利用し、それ以外の目的では利用しません。また、これらの接続情報、当社の取り扱う手続きに則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合につきましても、当社の取り扱い手続と同等に適切な管理を実施します。
●本機能は、工場出荷時に有効（「ON」）になっています。本機能に関して許諾いただけない場合は、クイック設定 Web で機能を無効（「OFF」）にしてください。（「メンテナンスバージョンアップ機能」を「OFF」にすると、「時刻指定バージョンアップ機能」も自動的に「OFF」となります。）ただし、本機能を無効にした場合、重要なソフトウェアの更新（例えばセキュリティ上の不具合を改善する更新など）であっても、自動的にバージョンアップは行いません。必ず、お客様が「手動」でバージョンアップを行ってください。
<ソフトウェアのバージョンアップ手順>
1. クイック設定 Web を起動する。（※ 右記「クイック設定 Web の起動方法」）
2. ホーム画面の「メンテナンス」→「ファームウェア更新」をクリックする
3. 「ファームウェア更新」の「更新」をクリックする
4. 「ファームウェア更新を行った」と「更新」の画面が表示されたら、内容をよく読んで「OK」をクリックする
5. 「ファームウェア更新中です。XXX 秒お待ちください。残り XXX 秒…」と表示されるので、そのまましばらく待つ
●保守サービス機能は、本商品に介してインターネットを介して保守サービス機能です
保守サービスの際には、本商品に関する機器情報、ネットワーク情報が当社の運用するサーバへ通知されます。また、クイック設定 Web で表示される情報が当社に送られます。これらの情報は、保守サービスのために利用し、これ以外の目的では利用しません。また、これらの情報は、当社の取り扱い手続きに則り、適切な管理を行います。当社が第三者と連携して本機能を利用する場合につきましても、当社の取り扱い手続と同等に適切な管理を実施します。本機能に関して許諾いただけないと、本機能が利用可能となります。
※保守サービスの内容などは予告なく変更させていただく場合があります。

電波に関する注意事項

●本商品は、技術基準適合証明を受けています。
●IEEE802.11ac、IEEE802.11n（5GHz 帯）、IEEE802.11a 通信利用時は、5GHz 帯域の電波を使用しております。5.2GHz、5.8GHz 帯域の電波は電波法で規制されています。
●5GHz 帯で使用するチャネルは 36,40,44,48ch（W52）と 52,56,60,64ch（W53）と 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch（W56）です。従来の IEEE802.11a で使用する 34,38,42,46ch（U52）の装置と IEEE802.11a モードでの通信はできません。
 ・ W52（5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch）
 ・ W53（5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch）
 ・ W56（5.8GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）が利用できます。
5GHz 帯で接続する子機は、以下のチャネルが利用可能なものを推奨します。
 ・ W52（5.2GHz 帯 /36,40,44,48ch）
 ・ W53（5.3GHz 帯 /52,56,60,64ch）
 ・ W56（5.8GHz 帯 /100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）
●W53（52,56,60,64ch）または W56（100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140,144ch）を選択した場合は、法的により次のような制限事項があります。
 ・各チャネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
 ・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
●IEEE802.11n（2.4GHz 帯）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同周無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体無線局構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
 (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 (2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の放射を停止）してください。
 (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、Atermインフォメーションセンターにお問い合わせください。
●Bluetooth 機器との通信はできません。
●IEEE802.11n（2.4GHz 帯）、IEEE802.11g、IEEE802.11b 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体無線局設置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、干渉距離は 40m です。

2.4 DS/OF 4

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す DS/OF : DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
規定される干渉距離は 40m 以下であることを示す
■■■■ : 全帯域を使用し、かつ移動体無線局設置の帯域を回避可能であることを意味する

IEEE802.11b/g/n

●本商品は 2.4GHz 帯で使用し、チャネル設定を手動で行う場合は、一般社団法人 電波産業会の ARIB 規格により下記内容が推奨されています。
【この機器を 2.4GHz 帯で運用する場合、干渉低減や周波数利用効率向上のため、チャネル設定として CH1,CH6,CH11 のいずれかであることを推奨します。】
ただし、無線 LAN 以外のシステムとの干渉を避けるために、推奨の 1,6,11ch 以外を使用しなければならない場合はこの限りではありません。（使用チャネルの設定方法は「[ユーザズマニュアル](#)」を参照してください。）
●デュアルチャネルを利用する場合は、同一周波数帯を使用する他の無線局に対して干渉を与える可能性があります。
 ・デュアルチャネルを「使用する」に設定する場合には、周囲の電波状況を監視して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前にお確かめください。
 ・万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、すぐに「使用しない」に設定を変更してください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI — B

高調波電流抑制対策について

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品
※消費電力 75W 以下のため適合

本商品本体のラベルに記載の図記号説明

— — — : 直流

● 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。

注意

● 設置場所（本体および添付品）

本商品を設置する際は、必ず添付のスタンドを使用し、本商品の周囲に十分なスペースを確保してください。
また、設置の際は、以下のことにご注意ください。
● 本商品は温度 0 ～ 40℃、湿度 10 ～ 90％の結露しない環境でご使用ください。

● 本商品を重ね置きしないでください。

● 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。

● 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。

● 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。

● ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。

● 通風孔をふさがないようにください。次のような使いかたはしないでください。
<悪い例>
・収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
・じゅうたんや布団の上に置く
・テーブルクロスなどを掛ける

● 大きな衝撃や振動などが加わる場所や垂直面以外の壁や天井などには設置しないでください。